歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和８年１１月２６日

独立行政法人水資源機構
筑後川下流総合管理所長　北村　達也

１．目的

この歩掛参考見積の募集は、筑後川下流総合管理所において予定している「総合対策筑後機場ラインファン更新工事の積算の参考とするため、機材価格及び作業歩掛を募集するものです。

２．参考見積書提出の資格

(1) 水資源機構における令和７・８年度一般競争参加資格（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。

(2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。

(3) 水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成６年５月３１日付け６契約第４４３号に基づき、筑後川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

３．参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

(1) 提出方法

原則、電子メール（社印省略可）により提出するものとします。

参考見積書の様式は問いませんが、提出にあたっては、参考見積書または電子メールに担当部署及び氏名の記載をお願い致します。

なお、参考見積書は、作業項目毎に必要な技術者の人数等を記載して提出して下さい。

(2) 提出先及び提出期間

【参考見積書の宛名】

独立行政法人水資源機構　筑後川下流総合管理所長　北村　達也　宛

【提出先等】筑後川下流総合管理所　工務課

〒830-0071　福岡県久留米市安武町武島１０６３－２

TEL：0942-26-4551　FAX：0942-26-1525

電子メールアドレス jwa_chikugo_karyu@water.go.jp

【提出期間】令和８年１１月２７日（金）から令和８年１２月１１日（金）１６時まで

４．参考見積内容

(1) 作業項目及び作業内容

工事内容の詳細については、別紙－1,3 に示す工事内容について、別紙－2,4 の項目毎に必要な機材の価格及び作業員の員数を検討ください。

(2) 工事費の構成と歩掛見積徴取範囲

① 本歩掛参考見積を適用する工事費の構成は、水資源機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（建築編)」(以下「基準書」という。）によるものとします。

② 歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接人件費のうち、上記（１）の工事を実施する為に必要な機材価格及び作業員の人数等を徴取します。

③見積の有効期限は、令和８ 年１２月３１日までででお願いします。

(3) 作業員の職種と定義

国土交通省が公表している「令和８年３月から適用する公共工事設計労務単価」における「調査対象職種の定義・作業内容」によるものとします。

５．募集要領に対する質問

質問等がある場合は、次に従い電子メール（様式は自由）でお願いします。

(1) 提出期間：令和８年１１月２７日（金）から令和８年１２月２日（水）まで

(2) 提出先：３．（２）に同じ

６．質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

(1) 閲覧期間：令和８年１２月１日（火）から令和８年１２月１１日（金）まで

(2) 閲覧方法：ホームページに掲載します。

７．参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

８．その他

(1) この見積書をご提出いただいたことで、工事の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、工事費積算の目的以外には使用いたしません。

(2) 提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

－以　上－

（別紙－１）

歩掛参考見積仕様書

１．概要

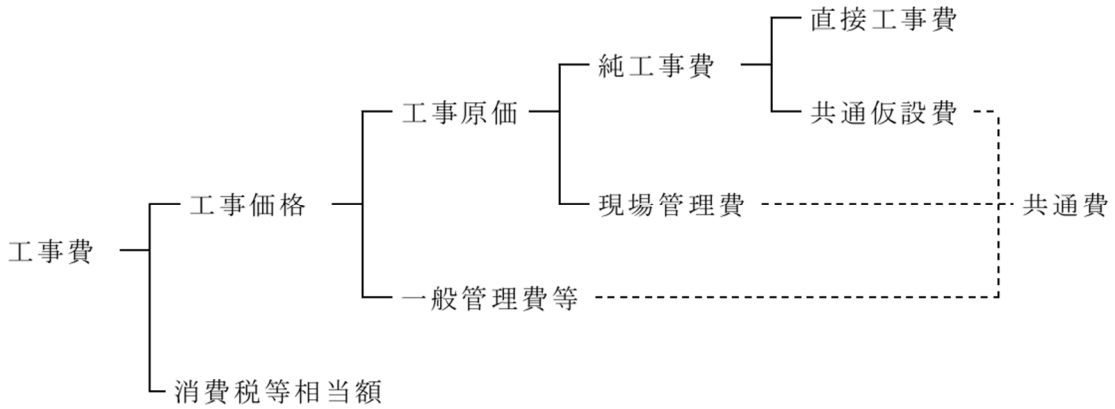
この見積仕様書は、筑後川下流総合管理所において予定している「総合対策筑後機場ラインファン更新工事」にあたり必要な直接工事費（工事に必要な機材価格及び作業員の歩掛）についての見積依頼に適用するものある。

徴収する作業歩掛りは、２．積算体系における直接人件費に係る範囲とし、共通費については、独立行政法人水資源機構（以下「機構」という。）が定める「積算基準及び積算資料（建築編）」の建築工事積算資料※に基づくものとし別途とする。

※国土交通省大臣官房官庁営繕部（以下「営繕部」という。）の「公共建築工事積算基準」に準拠

２．積算体系

本業務の工事費の構成は次の設計業務等委託料に準じるものとする。



３．準拠基準等

本工事において使用する技術基準等は、機構、営繕部が制定又は監修する次の最新版による。

(1) 設備

・営繕部監修「建築設備計画基準・同要領」
・営繕部制定「建築設備設計基準」
・営繕部制定「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）」
・営繕部制定「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」

(2) 建築

・営繕部制定「公共建築工事標準仕様書」
・営繕部制定「建築工事標準詳細図」

４．見積様式

見積の内訳、員数等は別紙－2「歩掛見積記入表」を参考にするものとする。

５．見積条件

５－１　見積書納入場所

福岡県久留米市安武町武島１０６３－２　筑後川下流総合管理所

５－２　工事概要

① ラインファン更新工事　　１式

５－３　工事を行うにあたり貸与できる成果は次のとおりとする。

(1) 令和６年度ラインファン更新工事　工事関係書類

(2) 筑後揚水機場完成図（平成９年）

５－４　工事仕様

１　ダクト更新

（直接仮設）

・機器取替えにあたっては既存建築物及び既存設備機器等を汚損しないよう適切な養生を行うものとする。

・作業足場の計画、設置にあたっては既存設備機器への支障を最小限にするため、監督員の承諾を受けるものとする。

・工事用電力、工事用水は受注者が準備するものとするが、機器取替時の運転試験についてはその限りではない。

（貸与機械及び貸与品等）

・本工事において、工事に必要となる次の機械を無償貸与する。ただし、機械を使用する場合、使用前点検を実施し、点検記録を監督員に提出するものとする。

なお、玉掛け用具等は受注者にて準備するものとする。

機械名	規格等	単位	数量	貸与期間等
天井走行クレーン	手動式 8ｔ吊り	台	1	・工事期間中の作業時 ・点検記録簿様式

・機器仕様

更新機器等の仕様は参考図による。電源は既存接続とし運転可動を確かめる。

５－５　石綿含有建材の取扱

関係法令等に基づき、次により、石綿含有建材の事前調査を行う。

①　調査範囲は、本工事の改修対象範囲とする。

②　調査は、筑後揚水機場新築工事図面、石綿含有建材の調査報告書等の書面調査

及び現地での目視調査により確認し、調査結果を取りまとめ、監督員に提出するとともに、その写しを工事の現場に備え置く。また、関係法令等に基づき、官公署へ報告を行う。

③　分析調査は、「建材中の石綿含有率の分析方法について」（平成 18 年 8 月 21 日基発第 0821002 号、最終改正：令和 3 年 12 月 22 日 基発 1222 第 17 号）に基づき、定性分析（JIS A 1481-1）を実施しており、分析結果は次による。

なお、本工事の改修範囲においては、みなし含有建材とみなし、改めての分析調査は要しない。

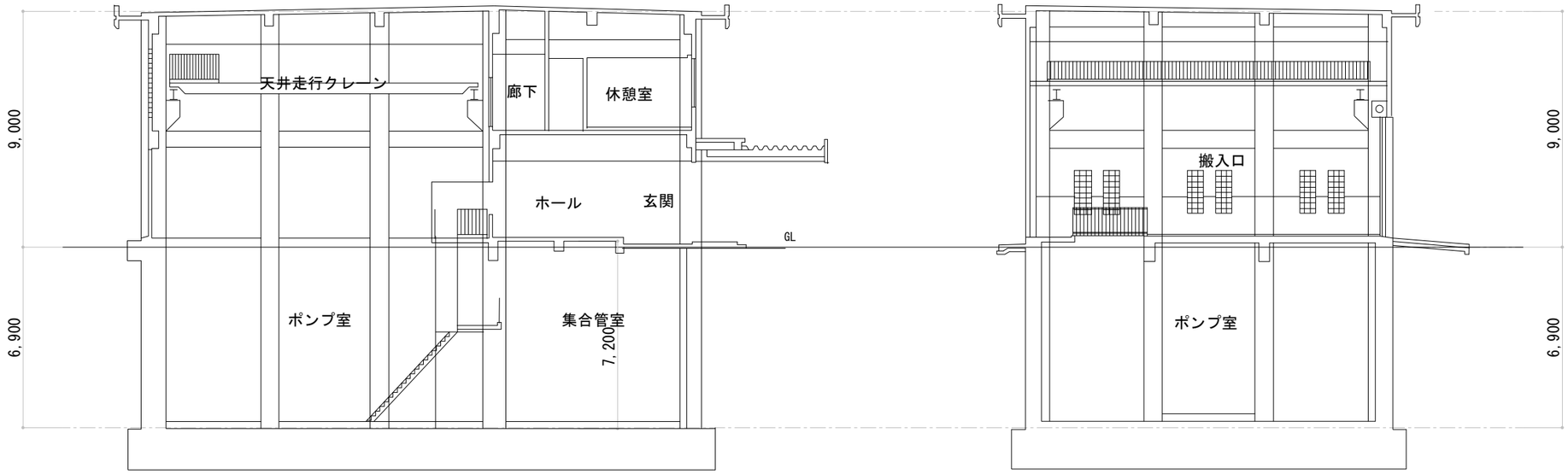
材 料 名	採取箇所	石綿含有の有無	備　　考
ｸﾞﾗｽｳｰﾙ内貼り材(GW)	－	非含有	
たわみ継手	－	含有	

以上

筑後揚水機場	撤去				
名　　称	摘　　要	単位	員数	備　　考	
共板ﾀﾞｸﾄ撤去	650×600　GW50内貼	m		人　ﾀﾞｸﾄ工	参考数量　20m
角丸ﾀﾞｸﾄ撤去	φ400-650×600	個		人　ﾀﾞｸﾄ工	参考数量　16台
たわみ継手撤去	石綿含有建材(非飛散)	か所		人　ﾀﾞｸﾄ工	参考数量　16か所
ｴﾙﾎﾞ撤去	GW50内貼	個		人　ﾀﾞｸﾄ工	参考数量　8 個
ﾗｲﾝﾌｧﾝ撤去	φ650×700	台		人　設備機械工	参考数量　8 台
消音ﾎﾞｯｸｽ撤去	1900*800*800　GW50内貼	台		人　ﾀﾞｸﾄ工	参考数量　8 台
消音ﾎﾞｯｸｽ撤去	1600*800*800H　GW50内貼 吹出口HS1400*450	台		人　ﾀﾞｸﾄ工	参考数量　8 台

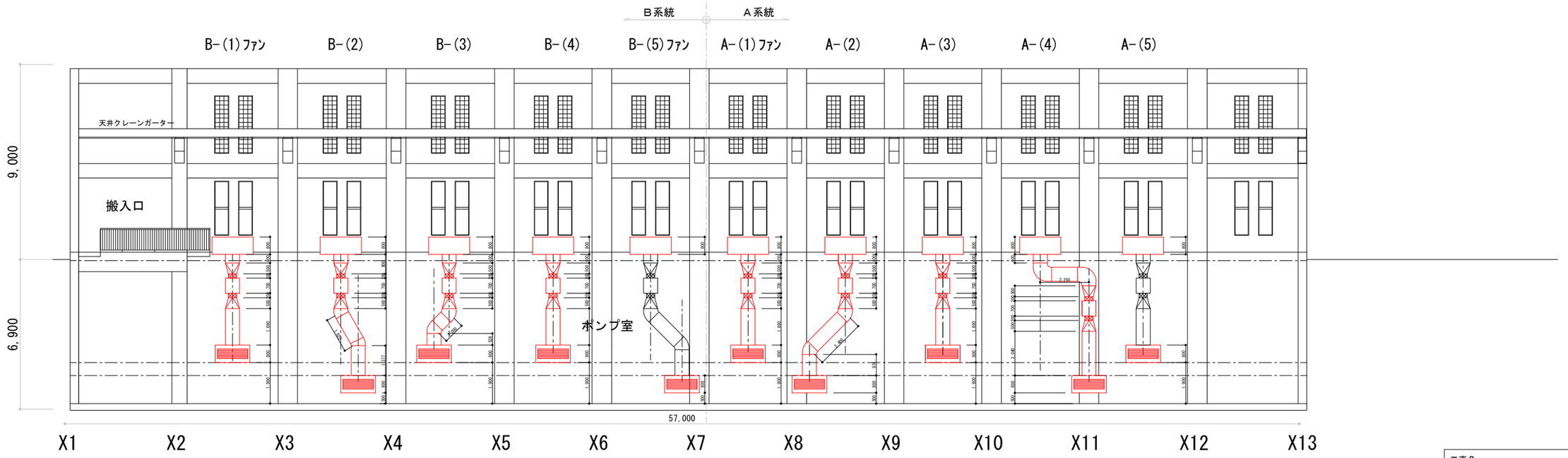
筑後揚水機場			ﾗｲﾝﾌｧﾝ更新		
名　　称	摘　　要	単位	単　価	金　　額	備　　考
(機材価格)					
共板ﾌﾗﾝｼﾞ工法 ﾀﾞｸﾄ	0.6mm GW50内貼	㎡			参考数量　37m2
角丸ﾀﾞｸﾄ	650*650-400φ	個			参考数量　16個
ｴﾙﾎﾞ	650*600	個			参考数量　8 個
たわみ継手	400φ　200H	か所			参考数量　16個
消音ﾎﾞｯｸｽ(上)	1900*800*800　GW50内貼	台			参考数量　10台
消音ﾎﾞｯｸｽ(下)	1600*800*800H　GW50内貼 吹出口HS1400*450	台			参考数量　10台
ﾗｲﾝﾌｧﾝ	消音ﾎﾞｯｸｽ付きﾗｲﾝﾌｧﾝ	台			参考数量　10台

名　　称	摘　　要	単位	員数	備　　考	
(施工費)					
ﾀﾞｸﾄ取付	直　650×600	m		人　ﾀﾞｸﾄ工	参考数量　15m
ﾀﾞｸﾄ取付	角丸ﾀﾞｸﾄ　φ400-650×600	個		人　ﾀﾞｸﾄ工	参考数量　16個
ｴﾙﾎﾞ取付	650*600	個		人　ﾀﾞｸﾄ工	参考数量　8個
たわみ継手取付		か所		人　ﾀﾞｸﾄ工	参考数量　16か所
消音ﾎﾞｯｸｽ取付	1900*800*800H	台		人　ﾀﾞｸﾄ工	参考数量　10台
消音ﾎﾞｯｸｽ取付	1600*800*800H 吹出口HS1400*450	台		人　ﾀﾞｸﾄ工	参考数量　10台
ﾗｲﾝﾌｧﾝ据付	既設架台取付	台		人　設備機械工	参考数量　8台
ﾗｲﾝﾌｧﾝ電源工		か所		人　ﾀﾞｸﾄ工	参考数量　8台



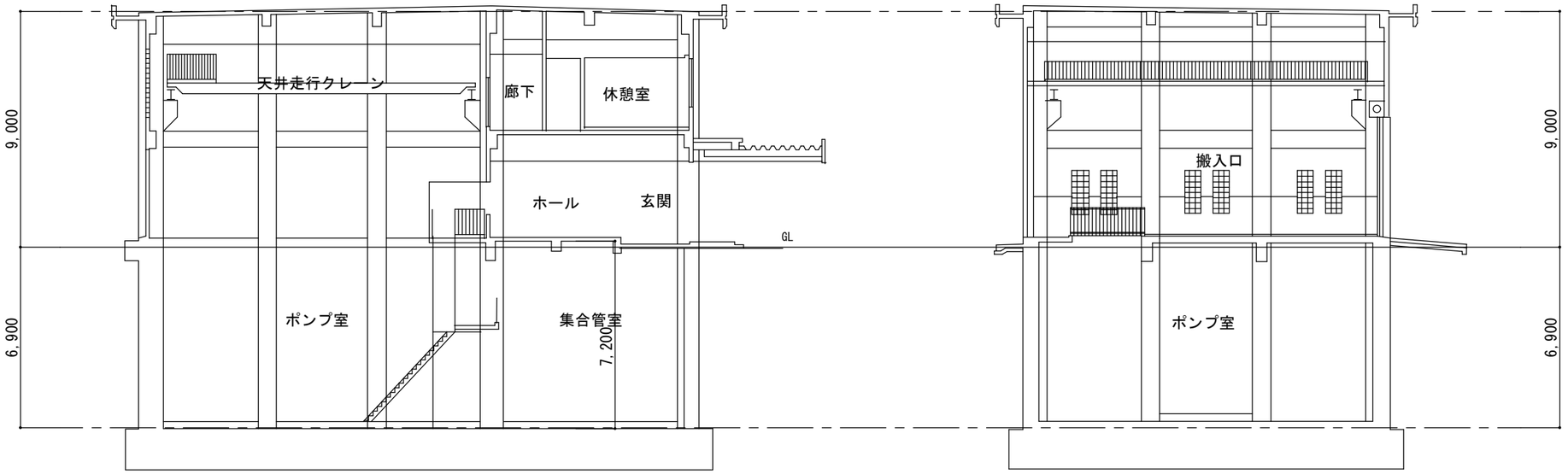
断面図（１）　１／１００

断面図（２）　１／１００



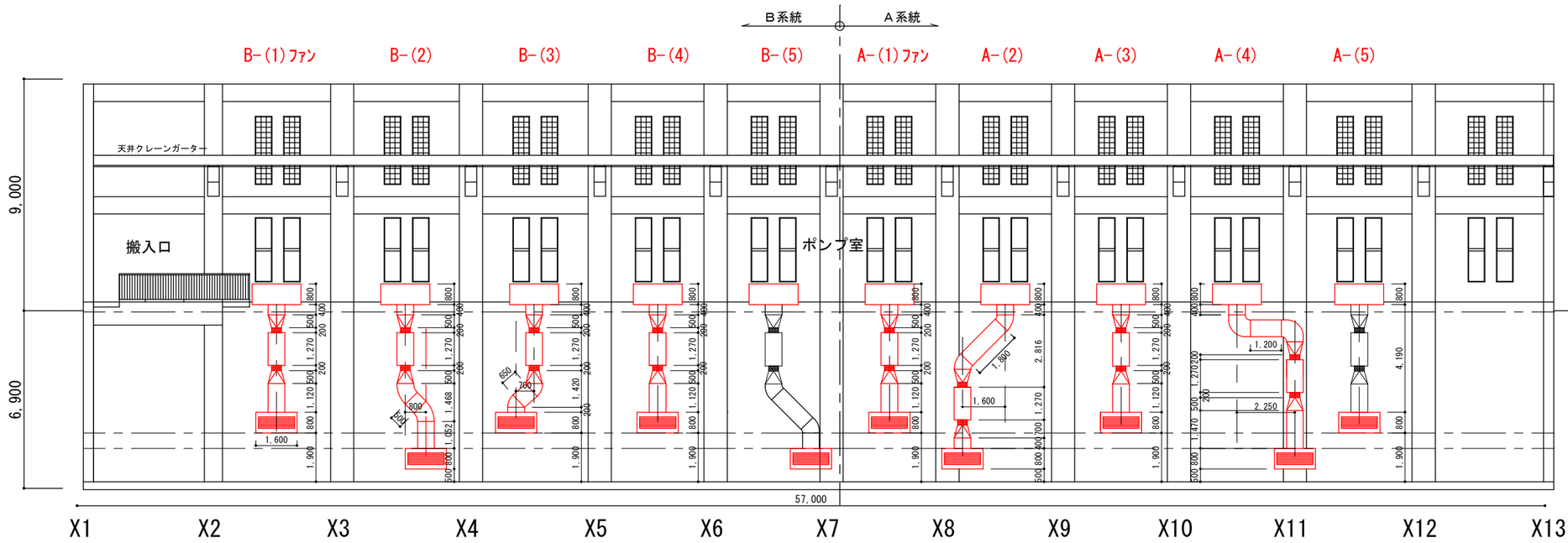
Y5通り展開図　１／１００

工事名	
名　称	断面図、Y5通り展開図（撤去）
登録番号	整理番号
独立行政法人水資源機構　筑後川下流用水事業所	



断面図（１）　1/100

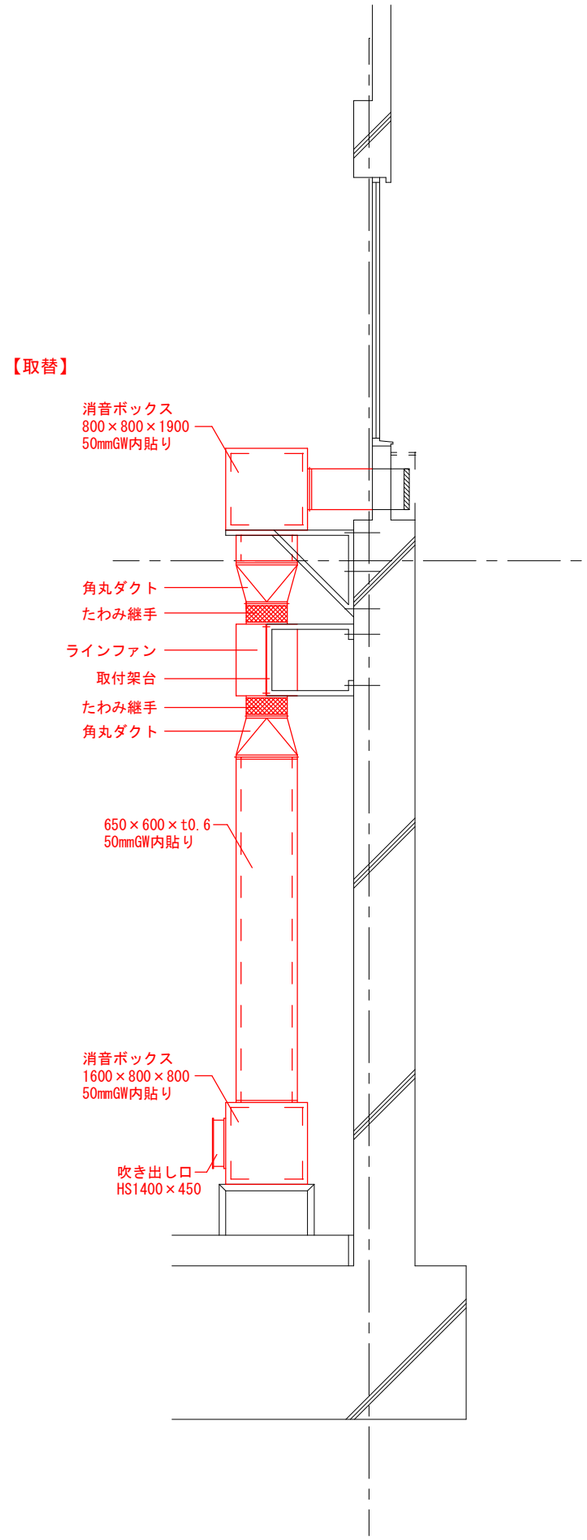
断面図（２）　1/100



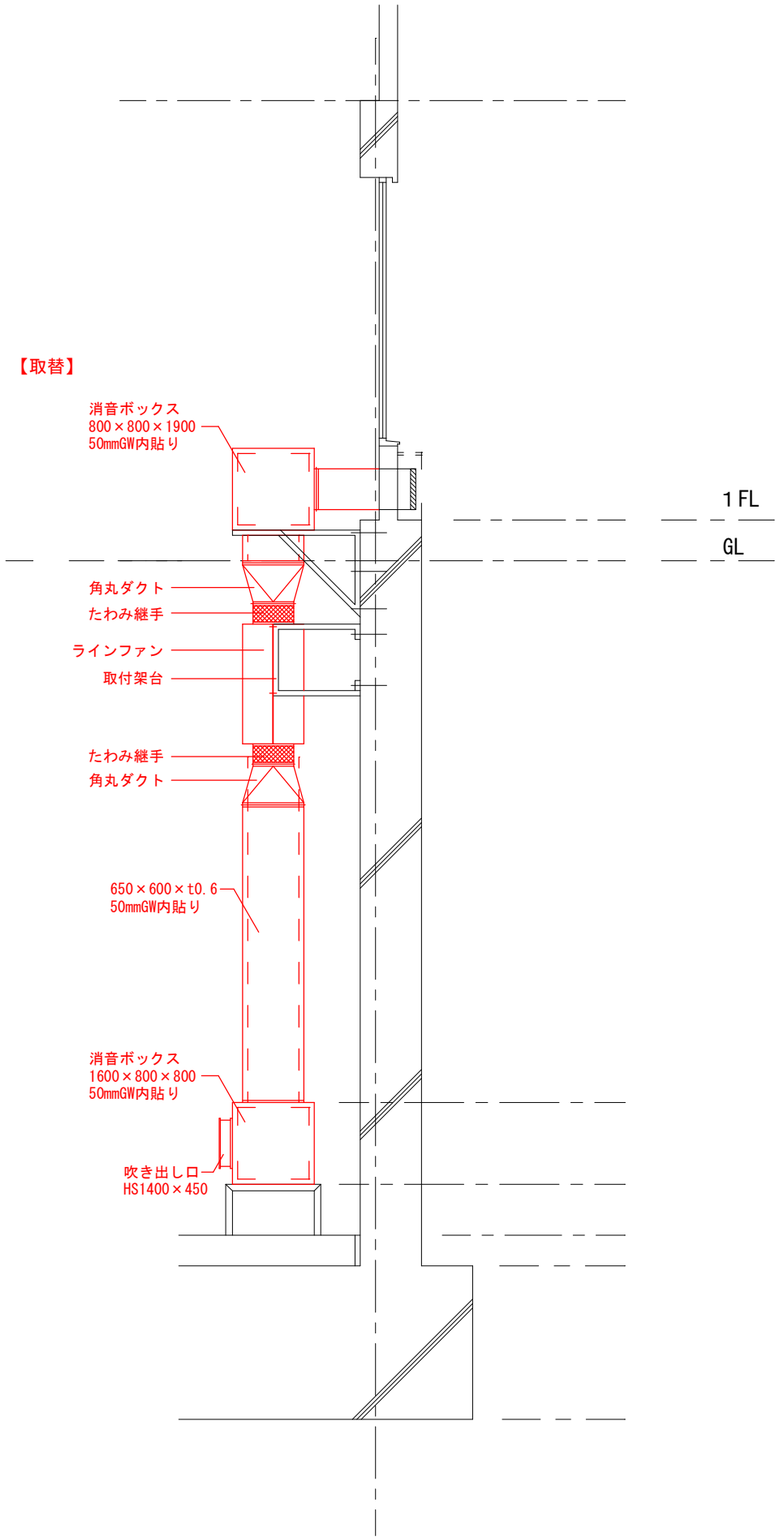
Y5通り展開図　1/100

【取替】ラインファン
消音付ﾎﾞｯｸｽﾗｲﾝﾌｧﾝ　荏原製作所　4LFU46　1.6kw
亜鉛鉄板ﾀﾞｸﾄ　t=0.6
たわみ継手　400φ
角丸ﾀﾞｸﾄ　650×600－400φ
ﾀﾞｸﾄ内張保温　50mm
電源接続、取付け架台は既存利用

工事名	
名　称	断面図、Y5通り展開図（新規）
登録番号	整理番号
独立行政法人水資源機構　筑後川下流総合管理所	



ラインファン標準図（撤去）　１／３０



ラインファン標準図（新規）　１／３０

番号	仕　　様	台数	備　　考
①	ラインファン　No.4 風量　84m3/min　静圧18～21mmAq　3φ200V　1.6kw 消音ボックス付	4	備　　考
~~②~~	~~ラインファン　No.4 風量　120m3/min　静圧20.5mmAq　3φ200V　1.6kw 消音ボックス付~~		
③	ラインファン　No.4 風量　110m3/min　静圧19mmAq　3φ200V　1.6kw 消音ボックス付 荏原　LFU461.6	5	Ａ系統 （今回4台更新対象）
④	ラインファン　No.4 風量　90m3/min　静圧19mmAq　3φ200V　1.6kw 消音ボックス付 荏原　LFU461.6	5	Ｂ系統 （今回4台更新対象）
⑤	シロッコファン　No.３ 1/2 風量　167m3/min　静圧25mmAq　3φ200V　2.2kw 防振ゴム取付	6	
⑥	軸流ファン(立型)　No.５ 風量　143m3/min　静圧25mmAq　3φ200V　1.5kw 消音ボックス取付	1	
⑦	軸流ファン(立型)　No.７ 風量　228m3/min　静圧31mmAq　3φ200V　2.2kw 消音ボックス取付	1	

工事名	
名　称	ラインファン標準図、機器仕様
登録番号	整理番号
独立行政法人水資源機構　筑後川下流総合管理所	

【様式－2】

参考写真

筑後揚水機場



既存ダクト撤去時状態



既更新時、撤去ダクト状態



既存消音ボックス（下部）内部状態

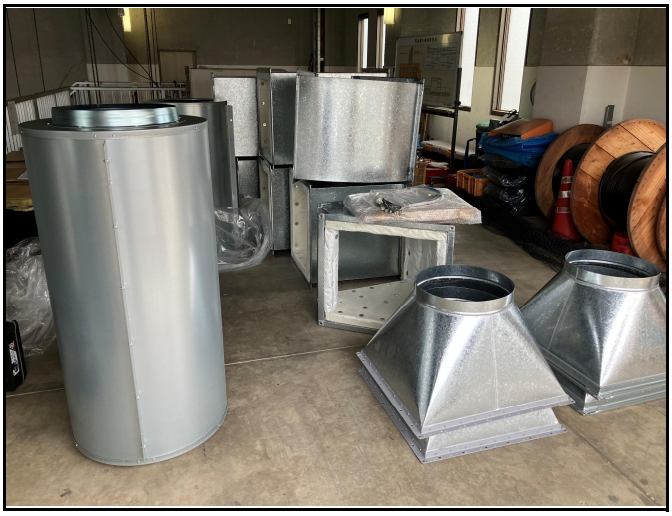
【様式－2】

参考写真

筑後揚水機場



既存ダクト、新設ダクト（全景）



既更新部分の機材（納入時）
角丸ダクト内の内貼りなし



既更新部分の機材（納入時）
エルボ
内側GW50貼り